

岐阜県の健康課題解決に向けた県民栄養調査解析（継続課題）

実施機関：保健環境研究所疫学情報部

調査研究期間：令和6年度～令和8年度

<目的>

岐阜県では県民の健康増進のため「野菜摂取量を増やし、食塩・脂質の過剰摂取を抑える青年期、壮年期の栄養・食生活の改善」を掲げてきましたが、「第3次ヘルスプランぎふ21」終期の令和4年での評価では、1日当たり野菜摂取量、食塩摂取量、脂肪エネルギー比率の低下等多くの項目で未達成となっています。そこで、目標が達成できない原因を明らかとするとともに、県民の栄養改善策の立案を目指して研究を行いました。

<方法>

県では、県民の健康や食生活等の状況を明らかにし、その結果を県民の健康づくりに役立てることを目的に、概ね5年ごとに県民栄養調査を実施しています。この報告書を詳細に分析することで県民の栄養状態の把握し、県民の栄養面での課題について調べました。

<経過報告>

- ・20歳以上の1日当たりの果物摂取量の平均値は男性80g、女性9gと目標量の100gに達していません。
- ・脂肪エネルギー比率は1999年以降徐々に増加しており、男女とも望ましいとされる25%を超過しています。

ヘルスプランぎふの栄養目標とその達成状況

指標項目	対象	目標値	達成状況
1日当たり野菜摂取量の増加	20歳以上	350g以上	×
果物摂取量の増加(100g未満の割合低下)	20歳以上	50%以下	×
食塩摂取量の減少	男性	7.5g未満	×
	女性	6.5g未満	×
脂肪エネルギー比率の減少	20-49歳	25%未満	×

